

MODEL 1192

短焦点

レーザドップラセンサ

エンジン直付け



本器は、センサの超小型化を実現し、自動車のエンジンに直接取り付けて速度測定をすることができるレーザドップラ方式の非接触速度・長さ測定センサです。

MODEL 2041の信号処理器と組み合わせて使用します。

また、センサを2台使用することにより独立した2点の速度・速度ムラ測定はもちろん、動力を伝達している2点間の速度を比較し、伝達誤差やすべり量をリアルタイムで測定する事ができ、2チャンネル間の各種演算を行なう事ができます。

超小型

水冷構造

100℃

耐震構造

200Hz

クラス3B

780nm

特 長

- 1 非接触測定のため、スベリが発生したり製品にキズを付けたりせず高精度です。
- 2 超小型のため、自動車のエンジンなど従来取り付けることができなかった場所への取り付けが可能です。

製品仕様

測定方式	レーザドップラ方式、後方散乱差動型
使用レーザ	半導体レーザ 出力：35mW 最大（クラス3B）、波長：780nm（代表値） ビーム形状 横：約3mm、縦：約1mm コリメートビーム
測定距離	40mm±5mm
速度測定範囲 ※処理器との参考値	MODEL2041 速度測定範囲 5~6000m/min ※m/sec、km/hは上記範囲を換算したものと同一です。
測定確度・再現性	±0.2%以内・±0.05%以内
電源	信号処理器から供給
使用温度範囲	0℃～100℃（冷水の循環による内部冷却時）
ケーブル長	直出し5m（標準）
ケーブル曲げ半径	20mm（±10mm）
外形・重量	28(W) × 21(H) × 75(D)mm 突起物を含まず、約110g（ケーブル含まず）
その他	冷水の循環による内部冷却構造 （最大100℃の環境で使用可能） エンジン直付け可能な耐震構造 （200Hz以上は防振ゴムによる除振を検討してください）

※製品改良により予告なく仕様を変更する場合があります。